

令和5年7月28日



株式会社 講談社 FRIDAY（8月11日号）の記事について

令和5年7月28日（金）発行の株式会社 講談社 FRIDAYの記事内容について、明らかな事実誤認であり、正確な事実については別添の「質問書についてのご回答」となります。

《連絡先》

貝塚市消防本部 総務課 宇賀

〒597-0084

貝塚市鳥羽122番地1

TEL:072-422-0119（代表）

TEL:072-422-9201（総務課直通）

FAX:072-433-4603

E-mail: shobosomu@city.kaizuka.lg.jp

令和5年7月26日

講談社 FRIDAY編集部
[REDACTED] 様

貝塚市消防本部
消防長 上野 隆二
(公印省略)

質問書についてのご回答

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、令和5年7月25日に送付いただきました貴社の質問書について、下記のとおりご回答申し上げます。

謹白

記

(質問1)

質問書冒頭において、酒井了市長が「頻繁に」貝塚市消防署へ立ち寄ったとの記述がありますが、市長は消防職員と親交を深めるために、昨年夏頃から5回程度、市役所からの帰路途中に立ち寄ったものであり、頻繁ではありません。

また、質問1文中「隊員らに見守らせた状態でベンチプレスなどの筋力トレーニングを行っているとの証言を得ている」との記述についても事実誤認であり、市長は消防職員と親交を深めるために、職員と同じ時間を共有し気軽に会話をするのに、消防長室や中2階の倉庫を訪れたものです。そこで、市長は管理職を含めた職員数人と会話をしたり、中2階の倉庫のトレーニング機器にも触れられたことはございます。

「このように職員と親交を深めるために消防署に立ち寄り、職員と同じ時間をフランクな形で共有頂くことは、職員にとって市長を身近に感じ、士気高揚にも繋がり喜ばしいことであり、ぜひ時間がある時にはお立ち寄りいただきたい」旨、消防幹部職員より市長にお伝えしておりました。

(質問2)

市長の帰路途中での立ち寄りとは、消防職員との親交を深める目的で訪れたものであり、消防長から市長に対し、「ウエイトトレーニングを頑張っている職員の存在を是非知っていただきたい」と進言し、実際に紹介し、会っていただいた経緯があります。

なお、消防署長ではなく、消防長から市長への進言です。

(質問3)

従来より外部などからの問合せに対しては、個々に対応せず窓口を一本化する対応をしており、今回、箒口令を敷いた事実はございません。

以上

《連絡先》

貝塚市消防本部 総務課 宇賀


〒597-0084

貝塚市鳥羽122番地1

TEL:072-422-0119 (代表)

TEL:072-422-9201 (総務課直通)

FAX:072-433-4603

E-mail : 

講談社FRIDAY 質問書

2023年7月25日

貝塚市消防本部
宇賀様

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

現在、弊誌『FRIDAY』では、貝塚市の酒井了市長が頻繁に貝塚市消防所へと立ち寄られている件について取材を進めております。つきましては、下記の項目についてのご見解、事実関係を確認させていただきたく存じます。

(質問1)

昨年2月の貝塚市長選挙での当選以来、酒井了市長が複数回、貝塚市消防署を訪れ、隊員らに見守らせた状態でベンチプレスなどの筋力トレーニングを行っているとの証言を得ていますが、これは事実でしょうか。また、このことへの見解をご明示ください。

(質問2)

本誌の取材に対し酒井市長は、消防署長から「ウエイトトレーニングの得意な隊員がいるため紹介したい」と言われたため貝塚市消防署内のジムを訪れていたと証言しています。消防署長は酒井市長に対し、実際にこのような発言をされたのでしょうか。

(質問3)

酒井市長が貝塚市消防署に立ち寄られてトレーニングをされていることについて、消防署内で職員らに対して箝口令を敷かれていたとの証言を得ていますが、これは事実でしょうか。

ご多忙のなか大変恐縮ですが、7月26日(水曜)の正午までにご回答いただけますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

謹白

講談社 FRIDAY編集部